

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

萩・三見地域生活拠点整備計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

山口県萩市

3 地域再生計画の区域

山口県萩市の区域の一部（三見地区）

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

【課題】

平成23年に開通した萩・三隅道路（自動車専用道路）に併せ開設した道の駅「萩・さんさん三見」は、これまでに市内外から多くの観光客が流入し、地域のにぎわいを担う「場」を牽引してきたものの、長引くコロナ禍の影響や原油価格・物価高騰等による消費活動の減退から次の課題が挙げられる。

- ▶都市部と農村部の交流拠点となる道の駅を訪れる来客数の減少及び売上の減少
 - ・道の駅来客数（平成30年：122,503人 ⇒ 令和3年：99,869人）
 - ・道の駅売上状況（平成30年：91,291千円 ⇒ 令和3年：80,482千円）
- ▶地域内の人口減少、少子高齢化の進展に伴う地域全体の活力の減退
 - ・三見地域内人口（平成30年：1,175人⇒令和3年：1,060人）

加えて、現・道の駅は構造上、次のような課題も抱えている。

- ▶食堂スペースが不足し、多くの観光客が訪れた際には客だまりが発生するなど集客に限界がある。
- ▶施設内スペースに限りがあることから、観光情報などを十分に提供・発信できておらず周辺地域まで経済効果を波及できていない。
- ▶様々な方（地域住民や観光客等）が利用しやすい施設とするための設備・機能（休憩スペース、Wi-Fi通信等）が備わっていない。
- ▶安定した物販供給体制を図るためには、直売所や食堂で販売する食料品等の保管場所が必要不可欠だが、倉庫スペースが不足しているため供給量に限界がある。
- ▶屋外トイレは、暖房便座化がされておらず利用しにくい環境であり、利用者の増加に伴い現在設置している浄化槽では容量不足の恐れがある。
- ▶災害時などの有事の際には地域住民の一時避難所として利用されるが、防災関連設備の充実が図られていない。

今後も増加が予想される高齢者の生活支援や地域コミュニティの維持のため、道の駅を地域住民の生活・交流拠点とし、また観光客も含めた関係人口、交流人口の増加を図る観点からも上記の課題解決に早急に取り組む必要がある。

4-2 地方創生として目指す将来像

【概要】

【背景】

モータリゼーションの進展による長距離ドライブの増加に伴い、円滑な道路交通を支えることを目的として作られた道の駅であるが、近年の地方での過疎化の進展や地域経済の活力の低下を背景に、集落地域の「小さな拠点」の重要性が提起される中で、道の駅の持つ地域振興機能やコミュニティの拠点としての機能が注目されている。

一方、近年では地震や風水害に対する防災拠点としての役割を兼ねた道の駅の存在など、施設の多機能化が進み、道の駅はもはや単なる休憩の拠点には留まっていない。

【目指す将来像】

こうした背景から、道の駅の設備・機能強化を図り、地域住民の生活やニーズに寄り添った「小さな拠点」とするとともに、観光地としてより多くの方に訪れていただけるような施設を目指す。同施設が地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生と周辺地域に経済効果をもたらす中心的な役割を担うことで、当該「道の駅」を核とした地域全体のまちづくりを目指す。

【数値目標】

K P I ④	事業開始前 (現時点)						K P I 増加分 の累計
	2023年度 増加分 (1年目)	2024年度 増加分 (2年目)	2025年度 増加分 (3年目)	2026年度 増加分 (4年目)	2027年度 増加分 (5年目)		
K P I ①	年間来客者数	単位	人				
K P I ②	年間総売上高	単位	千円				
K P I ③	道の駅業務従事雇用者数	単位	人				
K P I ④	地域巡回バスの道の駅利用者数	単位	人				
K P I ①	100,000.00	0.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	20,000.00
K P I ②	89,120.00	0.00	15,000.00	15,000.00	10,000.00	10,000.00	50,000.00
K P I ③	27.00	1.00	1.00	0.00	1.00	0.00	3.00
K P I ④	0.00	0.00	70.00	50.00	50.00	50.00	220.00

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2の③及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ 地方創生拠点整備タイプ（内閣府）：【A3016】

① 事業主体

2に同じ。

② 事業の名称

地域のにぎわい創出の拠点づくり～道の駅「萩・さんさん三見」拠点整備事業

③ 事業の内容

道の駅としての地域振興機能やコミュニティ拠点としての機能強化を図るため、以下の整備を行う。

- ・食堂スペースの拡張（増築）
- ・物販スペースの拡張（増設）
- ・情報コーナー（移住・定住者支援情報・道路交通情報・緊急時防災情報）の拡張（増築）
- ・休憩サロンスペース（地域巡回バス待合所）の拡張（増築）
- ・物販に係る倉庫スペースの拡張（増築）
- ・フリーWi-Fi設備の設置
- ・屋外トイレの機能強化
- ・合併浄化槽の増設
- ・防災関連設備（かまどベンチ）の設置 【一般財源で整備】

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

道の駅施設の整備後は、日本海を望む絶景を活かした四季折々の道の駅イベントの開催（1回/年⇒3回/年）、地域内高齢者（買い物弱者）に対する買い物支援（地域内巡回バスの配車）等による交流人口の拡大を図るとともに、地域の拠点施設としての魅力向上、利便性の向上により、地域内外から多くの利用者が見込まれる。入込客数の増加に伴い、売上の増加が期待でき、道の駅運営にあたっては、行政からの財政的な支援を過度に頼らない、採算が取れる自立した経営基盤の強化を目指す。

【官民協働】

行政は、地域の活性化に向けたハブ的な役割として、地元住民や関係機関との調整を行う。事業者に対する的確な情報提供のため、制度の熟知や情報収集を行い、事業の円滑な運営に万全を期する。

民間事業者は、行政が先鞭をつけた地域活性化事業に呼応し、各事業者がその事業を継続し発展的に雇用増加のための事業拡大や、商品力の強化、新商品等の開発による売上確保を積極的に行う。

【地域間連携】

当該交付金事業を展開するにあたり、「ながと路観光連絡協議会」（山口県萩市、美祢市、長門市、阿武町、島根県益田市、津和野町）における周遊観光の促進に向けた取組の強化のほか、「山口県央連携都市圏域」（山口県萩市、山口市、宇部市、防府市、山陽小野田市、美祢市、島根県津和野町）による道の駅周遊イベント等による集客力強化に取り組むことで、当該施設の積極的な利用促進を図っていく。

【政策間連携】

「暮らしの豊かさを実感できるまち」という本市の将来像を目指すには、少子高齢化による生産年齢人口の減少、成熟した社会における多様な消費者ニーズへの対応、更にはグローバル化や新たな日常への対応といった社会環境の変化を乗り越え地域産業の稼ぐ力を持続的に成長させていく必要がある。当該交付金事業により、本市が有する強みを活かし、商工振興、観光振興、起業・創業、移住支援など、横断的な政策連携により本市産業を牽引していく。

【デジタル社会の形成への寄与】

内容①

Wi-Fi設備を含む光ファイバー通信設備の整備

理由①

施設利用者に対して、常時（24時間）デジタル通信環境を提供する基盤が整うため

内容②

該当なし。

理由②

内容③

該当なし。

理由③

⑤ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4-2の【数値目標】に同じ。

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証時期】

毎年度 8 月

【検証方法】

事業毎の実績とその後の発展性や事業相互の関連性を勘案し、産官学金労や住民代表等により構成される「萩市総合戦略推進委員会」等において、外部の知見を活用した成果検証と、今後の施策展開についての意見聴取を行うとともに、PDCAサイクルによる成果検証を実施する。

【外部組織の参画者】

【産】萩商工会議所、（一社）萩市観光協会、山口県農業協同組合萩統括本部、山口県漁協協同組合はぎ統括支店、阿武萩森林組合、萩ブランド協同組合、萩温泉旅館協同組合、萩・阿西商工会

【学】至誠館大学

【金】山口銀行萩支店、萩山口信用金庫萩支店

【労】連合山口中部地域協議会萩地区会議

【言】NHK山口放送局、萩テレビ株式会社

【住民】（一社）萩青年会議所、萩市社会福祉協議会、萩市児童クラブ連絡協議会、萩市PTA連合会、特定非営利活動法人萩市民活動ねっと、萩LOVE、萩元気食の会、川上地域コミュニティ協議会、田万川ふるさとづくり協議会、むつみ元気支援隊、NPO須佐元気なまちづくりネット、佐々並婦人会、紫福楽寿会

【官（オブザーバー）】山口県萩県民局、萩公共職業安定所

【検証結果の公表の方法】

検証後、萩市HP等で公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3016】

総事業費 96,089 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2028年3月31日まで

⑨ その他必要な事項

特になし。

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 交通空白地域支援事業

ア 事業概要

交通弱者等の地域内移動の利便性を確保するために、地域が運営する地域巡回バスを運行する。

イ 事業実施主体

山口県萩市、三見地区各種団体連絡協議会

ウ 事業実施期間

2023年4月1日から2028年3月31日まで

(2) 該当なし。

ア 事業概要

イ 事業実施主体

ウ 事業実施期間

年 月 日から 年 月 日まで

(3) 該当なし。

ア 事業概要

イ 事業実施主体

ウ 事業実施期間

年 月 日から 年 月 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2028年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

4-2に掲げる目標について、5-2の⑥の【検証時期】に7-1に掲げる評価の手法により行う。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

5-2の⑥の【検証結果の公表の方法】に同じ。